

三島市長選 候補者に聞く(届け出順)

出馬を決断したきつかけは三島駅南口再開発事業。一市の進め方から緩き、甘さが垣間見えた。政治家にならなければ変えられないと思つた。厳しい道で無謀という人もいるが声を上げたかった」と話す。

再開発事業の必要性を認めつつも現行案について「進めるより見直しを図り、何が必要か訴えたい。市庁舎建て替えが先送りなのに、なぜ再開発しなければならぬのか。今のタイミングでさわしいか疑問を感じる。事業協力者との協定は大きく変わることを話

進めるよりも見直しを図る

し合い、解除も念頭に「庁舎建て替えは既置く。一方で南北通行施設を利用したい。したいと考えを示す。路実現には意欲的。市例えは生涯学習センター。現市政については「一方民のニーズが高い。通一に移すことも可能だ。路に商業エリアを造りたい」と話す。

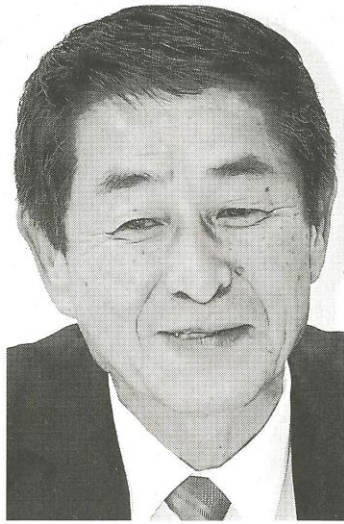


石井 真人 氏(39) 藤代町 無新

ちた、実感できる町づくりに取り組みたい。ンノ再生に努めたい。「現行案は課題が多く、これからは、生まれて共生社会、市民協働を極めて不透明で見えに

市民と向き合い地域再生

住んで良かったと実感 掲げる。できるような市民と向き合った政治が必要。となる三島駅南口の再



宮沢 正美 氏(69) 三ツ谷新田 無新

く。議論を重ねてかす。「JR在来線の上に橋上駅を造り、対応したい。東京五輪までにバリアフリーも考えたい」という。趣味は観戦も含めたスポーツ。県立山高時代は陸上部。今回の県高校駅伝優勝を喜び、「伊豆マラソンを復活させたい」とも話す。座右の銘は明治の政治家大久保利通の「為政清明」。家族は妻次男の3人暮らし。

「二期8年間、三島に生まれ育って暮らして良かったと思える市をつくりたいと考えてきた。多くの協力を得てスマートウエルネスを柱に取り組み、成果が上がった。ホップ(一期)ステップ(二期)し次はジャンプ。持続的発展の基盤をつくりたい」と意欲を示す。スマートウエルネスはまちづくりの健康で幸せを目指す「健康」という視点を取り入れたプロジェクト。

豊岡 武士 氏(75) 文教町 無現



再開発の3点を掲げ地域経済を把握し、10社という歴史、の三つる。③の東街区は市20年後の将来を見越民の要望意見を聞き、した方向性、先見性が

持続的発展の基盤つくる

いて素晴らしい三島をつくり上げる」とビジョンを示す。興味は読書とスポーツ観戦。健康の秘訣は20年間続ける毎朝のラジオ体操。最近はスクワットも始めた。今でも自宅から庁舎まで歩いて通う。県立山高では野球部に所属、監督を務めたこともある。座右の銘は「至誠」。妻と2人暮らし。